

指定管理者制度導入施設における目標値の設定について（新規導入・更新）

資料 1 - 2

【平成30年度中に新規導入・更新する施設】

番号	施設名	目標指標	単位	上段：実績値、下段：目標値					H26～H29 平均	目標値					
				H26	H27	H28	H29	H30		H31	H32	H33	H34	H35	
1	大分県立別府コンベンションセンター	主要4施設の稼働率	%	58 58	59 59	51 60	61 61	62	59.2※ 60	63	64	65	66	67	
2	大分県長者原園地	利用者数(オートキャンプ場) ※九重町のオートキャンプ場と一体的に管理するため	人	4,317 6,500	6,715 6,600	5,645 6,700	6,914 6,800	6,900	5,898※ 6,700	7,000	7,100				
3	動物愛護センター (ドッグラン、多目的広場)	ドッグラン利用頭数	頭						1,400	-	11,000	11,000			
4	大分県青少年の森	県民の森施設利用件数 (有料施設)	件	2,865	3,311	3,295	3,738		3,302	3,800	3,850	3,900	3,950	4,000	
5	大分県平成森林公園			2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000						
6	大分県神角寺展望の丘			2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000						
7	別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地	県営3号上屋の活用によるイベント開催数	回	93 50	104 50	71 50	110 50	75	95 50	80	85	90	95	100	
		【新設】イベント参加者が100人以上となる日数 (一般参加が可能であるもの)	日	14	16	17	20	25	17	30	35	40	45	50	
8	大分港大在コンテナターミナル	【新設】安全管理	%	新設					100	-	100	100	100	100	100
		【新設】新規獲得コンテナ貨物量	TEU	新設					300	-	500	500	500	500	500
		【新設】企業訪問数	社	新設					30	-	50	50	50	50	50
9	大分スポーツ公園	利用者数	人	1,251,769	1,153,427	1,144,627	1,088,487	-	1,159,578	1,472,000 (1,308,000) (164,000)	1,457,000 (1,200,000) (257,000)	1,471,000 (1,200,000) (271,000)	1,483,000 (1,200,000) (283,000)	1,493,000 (1,200,000) (293,000)	
10	高尾山自然公園			1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000	1,220,000						
11	屋内スポーツ施設								-						(上段)：大分スポーツ公園、高尾山自然公園(内数) (下段)：屋内スポーツ施設(内数)
12	大分県立庄内屋内競技場	利用者数	人	5,400 4,500	7,772 4,500	7,337 4,500	7,383 4,500	4,500	6,973 4,500	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	

1. 大分県立別府コンベンションセンター

1. 次期指定管理期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日(5年間)

2. 現在の指定管理者(公募)

ビーコンプラザ共同事業体

代表団体:(株)コンベンションリンケージ

3. 管理施設

県と別府市の共同管理(管理費用負担 県:別府市=1:3)

敷地面積 32,300㎡

- ・コンベンションホール 2,756㎡(8,000人収容)
- ・フィルハーモニアホール(別府市民ホール) (1,190席)
- ・レセプションホール 896㎡(928人収容)
- ・国際会議室 405㎡(300人収容)
- ・中小会議室(8室) 35㎡～161㎡(20～150人収容)
- ・グローバルタワー 高さ125m

〈利用料金:全日使用〉

- ・コンベンションホール 343,224円～960,984円
- ・フィルハーモニアホール 139,860円～335,448円
- ・レセプションホール 146,880円～176,256円(国際会議室同額)

※利用料金は平日・日祝日、アマチュア・興業(入場料あり)などの分類で変化する

4. 収支

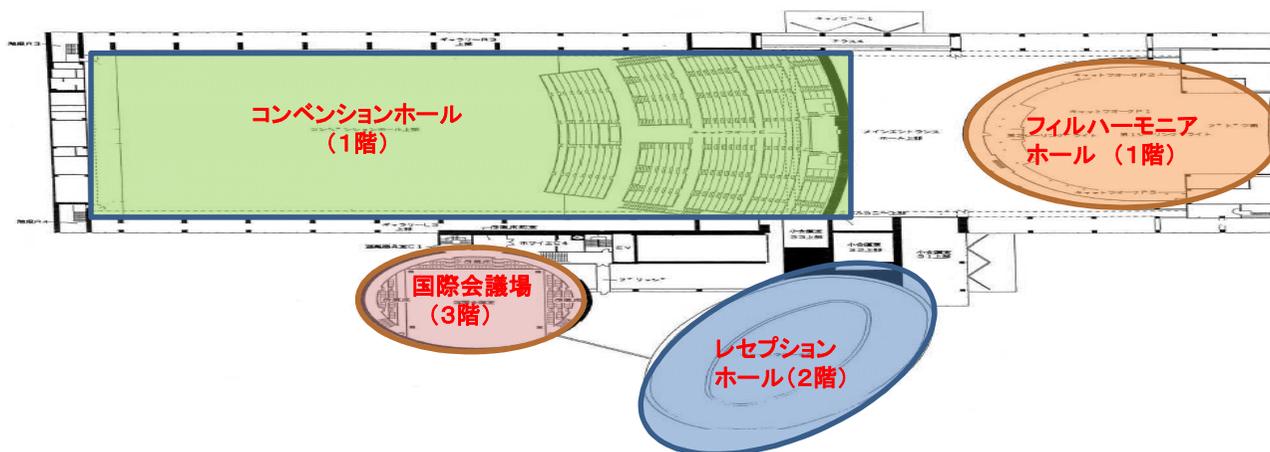
(単位:千円)

年度	収入	支出	収支
H27	358,571	358,241	330
H28	366,949	364,021	2,928
H29	353,017	352,848	169
	県・市委託料 81,229 (うち県委託料 20,307) 施設利用収入 128,857 チケット収入他 142,931	人件費 70,998 管理費 260,328 その他事業費 21,522	

5. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の維持管理及び修繕、運営管理 ・利用の受付、許可、案内、利用促進 ・貸館事業
自主(共催)事業	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゲリッチ音楽祭、大分復興応援ライブ、アイススケートショー、ビーコン夏祭り、オペレッタ劇場 など

(管理施設の配置図)



6. 目標指標〈主要4施設の稼働状況〉

(1) 現行の目標値及び実績値

(単位: %)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
目標値	58	59	60	61	62
実績値	58	59	51	61	—

熊本地震が発生したH28年を除いて毎年目標を達成している。

(2) 施設のあるべき姿(目指す姿)

設置目的は、県内外から多くの人に来てもらうことによる地域経済の発展と地元の方々の利用による交流の促進である。

これまでもこの目的をもって施設利用誘致に取り組み、H28年を除いて毎年稼働率を伸ばし、目標を達成している。全国のコンベンション施設(18施設調査)の稼働率は平均63.5%であり、H30年度の目標値以上であるため、更なる向上が必要となる。

観光県である本県としては、全国平均の稼働率ではなく、人口の多い他県施設の稼働率の平均66.0%を超え、67%の達成を当面の目標とする。大型イベント誘致には2, 3年の期間が必要であり、新たな取組を含めた誘致(営業)の強化を行いながら、毎年1%ずつ着実に稼働率を伸ばしていく。

(参考) 全国のコンベンション施設の状況

全国の施設(人口規模別)	平均稼働率
人口200万人以上の都道府県にある施設	66.0%
人口200万人未満の都道府県にある施設	58.4%
全施設の平均	63.5%

(3) 次期指定管理期間の目標指標

(単位: %)

年度	H31	H32	H33	H34	H35
稼働率(目標指標)	63	64	65	66	67

〈課題〉

- ①コンベンションホールの稼働率向上
- ②分科会で会議室を多く使用するような学会の誘致ができない
- ③週末の利用が多く平日の利用が伸びない



〈今後の取組〉

- ①県による営業活動
経済波及効果の大きいコンベンションホールの稼働率を向上させるため、大規模なMICE等の誘致活動において、誘致候補団体に対して、県が指定管理者に同行して営業する。
- ②ビーコンと他施設との連携
大分市内の施設(コンパルやホルトホール)等と連携して、初日はビーコンで合同会議、2日目は分科会で大分市、別府市に分散して開催することで大型の学会などを誘致
- ③直前割引の設定
大規模イベントの予約は約3年前から始まり、ほぼ1年前には利用が決まる傾向にあるが、直前利用はほぼないため、利用しやすい料金設定の検討

2. 長者原園地

1. 次期指定管理期間

平成31年4月1日～平成33年3月31日(2年間)

※長者原オートキャンプ場と泉水キャンプ村を活用した地域活性化について、九重町と協議するため

2. 現在の指定管理者(公募)

(有)吉武建設

平成26年4月1日～(1期目)

3. 管理施設

園地

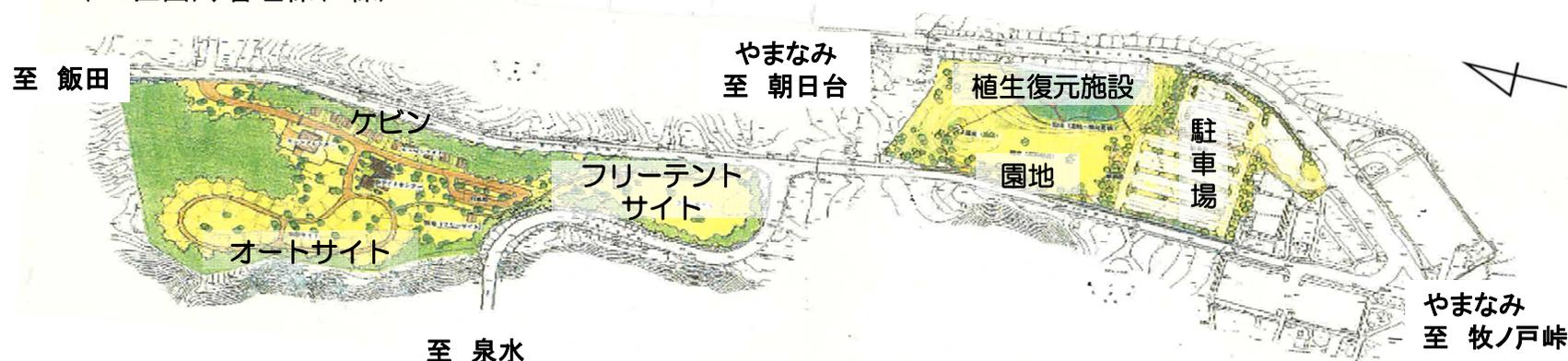
植生復元施設、駐車場(普291台大型9台)、敷地内の外構及び植栽、その他付随施設(東屋等)

(管理運営方針)

- ①オートキャンプ場を九重町に譲与(H31.4月)
- ②園地はこれまでどおりオートキャンプ場と一体的な指定管理(利用料金制)を継続することとし、オートキャンプ場の収益により園地の管理運営費を賄う。

※オートキャンプ場

ケビン(10棟)、オートサイト(40区画)、フリーテントサイト(40区画)、管理棟(1棟)



4. 収支

(単位:千円)

年度	収入	支出	収支
H27	19,229	18,238	991
H28	14,492	15,419	-927
H29	19,005	18,702	303
	・利用料金等 19,005	・管理費 7,189 ・人件費 11,513	

5. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備の利用管理 ・施設等の維持管理及び修繕 ・利用の受付及び案内 ・利用の許可 ・利用の促進
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマメのつかみどり(5回) ・石窯無料体験(4回) ・星空マップ配布(2カ月間)

6. 目標指標

(1) 現在の目標指標

(単位 人)

○オートキャンプ場利用者

項目	H26	H27	H28	H29	H30
実績	4,317	6,715	5,645	6,914	—
目標値	6,500	6,600	6,700	6,800	6,900

○オートキャンプ場の現状・課題(H29実績より)

- ①利用者の5割はGW、夏休み(ハイシーズン)に集中、曜日別では、土曜日の利用が5割を占める。
- ②長者原周辺は秋のすすき、紅葉など見所が多いにもかかわらず、新緑の5月に比べて利用者は少ない。
- ③ケビン、オートサイト、フリーテントサイトの3種類の設備の休日の稼働率は、ケビン86%、オートサイト23%、フリーテントサイト13%と大きな差がある。

(2) 施設のあるべき姿(目指す姿)

- ①登山客や観光客などがタデ原湿原や長者原を楽しむための駐車場と家族連れなどが散策、自然観察、風景観賞、ハイキングなどで四季を通じて賑わう園地
- ②3種類の設備により、初心者(ケビン)から上級者(オート、フリーテントサイト)と一緒に楽しめるオートキャンプ場に隣接し、一体的な指定管理により安全で、快適に利用できる園地

(3) 次期指定管理期間の目標指標

○オートキャンプ場利用者数

(単位 人)

項目	H31	H32
目標値	7,000	7,100

【考え方・根拠】

園地の管理運営費はオートキャンプ場の利用料金で賄うことから、適切な管理運営費を確保するため、オートキャンプ場利用者数を目標指標とする。

目標値は年間100人増、5年間で500人増となるように設定する。(秋シーズンの利用者増を図り、オートサイトの稼働率30%を目指す。)

月別休日利用者数・稼働率(5月～10月)

上段:人 下段 稼働率:%

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月	平均
ケビン (10棟)	309 94%	148 59%	311 94%	324 100%	282 94%	226 75%	266 86%
オートサイト (40区画)	362 27%	57 6%	321 24%	492 46%	219 18%	174 15%	271 23%
フリーテントサイト (40区画)	233 18%	53 6%	118 9%	293 27%	86 7%	157 13%	157 13%

※稼働率算出方法 月別利用者数÷3人[1棟当たりの仮定人数]÷日数÷棟[区画]数

3. おおいた動物愛護センター（新規施設）

1. 指定管理期間

平成31年2月1日～平成33年3月31日（2年2月間）

4. 収支

実績なし

2. 指定管理者

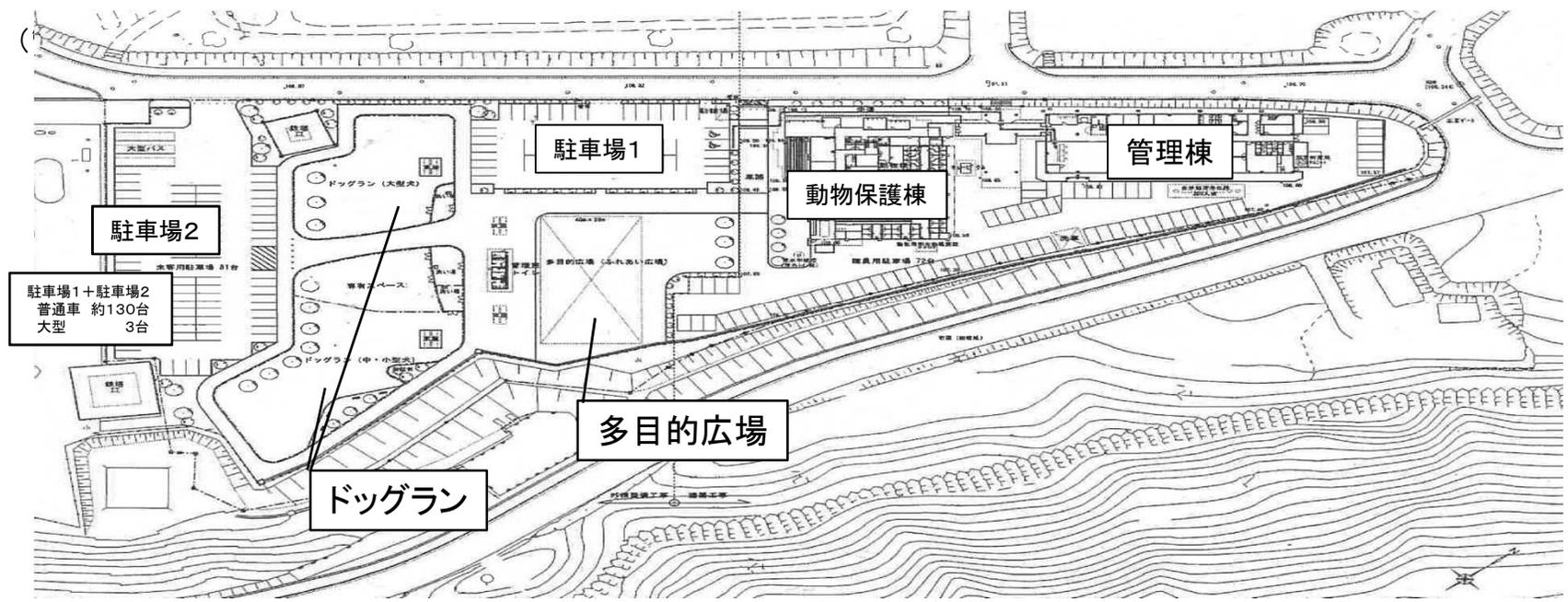
公募により選定

5. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none">・ドッグラン等の施設及び設備の維持管理・修繕・ドッグラン等の利用の受付及び案内・ドッグランの利用の許可・ドッグラン等の利用の促進
--------	---

3. 管理施設

- ・ドッグラン 共同使用スペース 1,889㎡
専用使用スペース 523㎡
- ・多目的広場 1,399㎡



6. 目標指標

(1) 現在の目標指標 該当なし

(2) 施設のあるべき姿（目指す姿）

広く県民が、下記のことを実行できる施設を目指す。

(ドッグラン)

- ・飼い主と犬が安心して楽しく触れ合う場
- ・飼い主同士の交流の場
- ・動物愛護に関する正しい知識を取得する場

(多目的広場)

- ・動物愛護の関心と理解を深める場

(3) 次期指定管理期間の目標指標

○ドッグラン利用頭数

項目	H30 (H31.2～3月)	H31	H32
目標値	1,400	11,000	11,000

【考え方・根拠】

- ・施設を確実に運営できる採算が見込める利用頭数を設定した。
- ・県内で面積、立地状況、利用条件等が同程度である別府ドッグランを参考にした。
- ・開所後の利用実績を踏まえた運営管理方法の見直しを早期に行うため、原則5年である指定管理期間を2年2月とした。

(他施設との比較)

項目	おおいた動物愛護センタードッグラン	別府ドッグラン
開所日	平成31年2月(予定)	平成27年3月14日
場所	大分市大字廻栖野	別府市大字鶴見(鉄輪地獄地帯公園内)
面積	2,412㎡	約3,000㎡
設置者	大分県	別府市
管理	指定管理	指定管理
利用条件	犬の登録、狂犬病予防注射が済んでいること	犬の登録、狂犬病予防注射が済んでいること
利用料金	(共同使用スペース) 1回利用:100円～350円(1頭1時間あたり) 回数券:11回券(10回分の利用料) (専用使用スペース) 1,000円～3,500円(1頭1時間あたり)	1回利用:200円(1頭あたり) 年間利用:3,000円(1頭あたり)

県民の森（4. 青少年の森、5. 平成森林公園、6. 神角寺展望の丘）

1. 次期指定管理期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日（5年間）

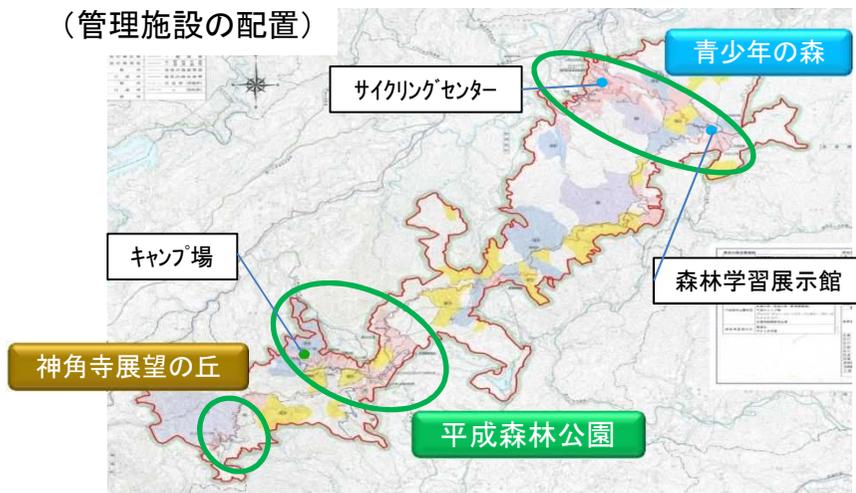
2. 現在の指定管理者（公募）

（公財）森林ネットおおいた
（平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間））

3. 管理施設

- ①敷地面積4,475ha うち県有林1,701ha
- ②平成森林公園キャンプ場 入村料 (おとな410円)
(こども200円)
コテージ 1棟 (10,800円/泊)
バンガロー 6棟 (6,500円/泊)
ツリーハウス7棟 (5,400円/泊)
常設テント 14張 (4,300円/泊)
③サイクリングセンター 自転車 48台 (おとな310円)
(こども200円)
レクチャールーム(4,600円/日)
④森林学習展示館 レクチャールーム(2,450円/日)
⑤林道・サイクリング道 44.6km 等

（管理施設の配置）



4. 収支

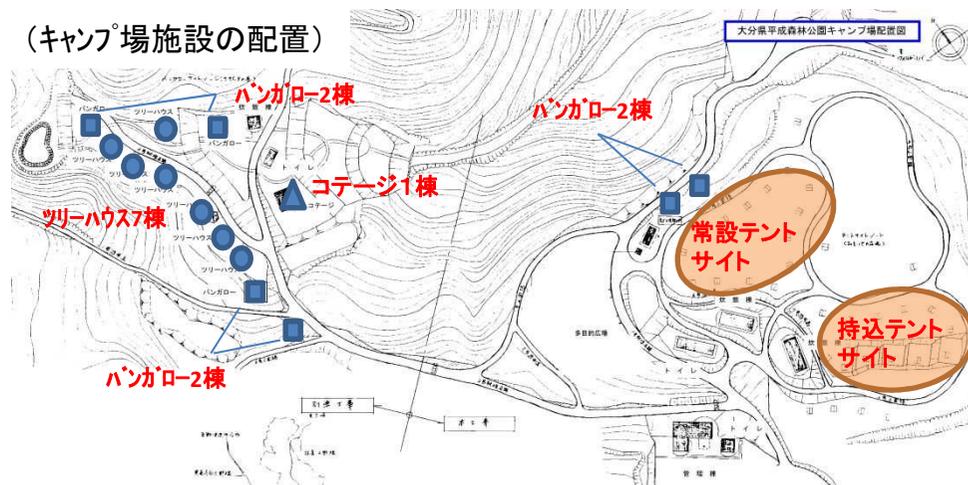
（単位:千円）

年度	収入	支出	収支	使用料収入
H27	83,298	83,298	0	2,636
H28	83,704	83,704	0	2,511
H29	83,145	83,145	0	2,868
	・指定管理委託料 81,103	・事業費 3,188		
		・管理費 52,287		
		・人件費 25,630		
	・自主事業収入 1,502	・自主事業 1,410		
	・サービス改善提案 540	・サービス改善提案 630		

5. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の運営管理及び維持管理、修繕 ・利用の受付、案内及び許可 ・森林環境学習及び森林レクリエーション、その他野外活動イベントの開催（年14回）
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成森林公園「さくら祭り」及び紅葉ウォーキングなどイベントを開催（年6回） ・森林カフェ実施（毎週金・土・火・祝） ・森のセラピーコース散策ツアー（年3回）

（キャンプ場施設の配置）



6. 目標指標

(1) 現在の目標指標（施設利用件数）

(単位:件)

項目	H26	H27	H28	H29	H30	平均
実績	2,865	3,311	3,295	3,738	—	3,302
目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

○現状・課題

5月、7月、8月はGWや夏休みなど連続の休日を活用した利用が可能であることから利用件数は増加し、申込みを断る事態も発生している。

一方で、週休日利用が中心となる秋の利用が伸び悩んでいる。

(2) 施設のあるべき姿（目指す姿）

森林のもつ豊かな自然を生かしたレクリエーションや森林環境学習等の場の提供を通して、県民の健康な生活の確保を図るとともに、森林に関する県民の理解を深めるための施設を目指す。

<取組>

①利用者ニーズに対応したキャンプ場施設や自転車の充実

案内看板やキャンプ場休憩舎の新設や自転車台の更新(電動自転車、GIANT製クロスバイク導入)

②イベントの充実や情報発信の強化

- ・秋のイベントを見直し、新たに星空観察等内容を充実させ、日帰型イベントを宿泊型イベントに変更(森のセラピーツアー)
- ・県民の森の魅力をSNS活用やポスティングにより情報発信

③周辺施設との連携強化

- ・大分川ダムや道の駅(H31)への観光客を県民の森へ呼び込む
- ・民間による森林アスレチック施設についても引き続き検討

(3) 次期指定管理期間の目標指標（施設利用件数）

(単位:件)

項目	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	3,800	3,850	3,900	3,950	4,000

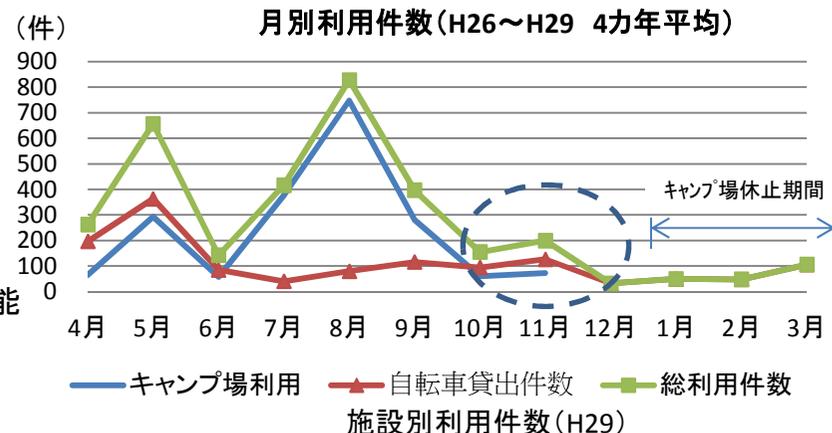
【考え方・根拠】

・キャンプ場は、春から夏にかけての連続休暇利用により伸びているものの、夏から秋にかけては利用が伸び悩んでいることから、秋に新たに宿泊型イベントを開催する等により利用者を増加させ、秋稼働率6%⇒14.5%を目指す。

(年間平均稼働率：週末の利用日に10人が滞在し、賑わっている状況)

・自転車の利用は、気候の適した春と秋の利用が主体だが、秋の利用が低迷している。そのため、更新した自転車をSNS等を活用し情報発信に努め、利用者の増加を目指す。(秋稼働率目標27.9%⇒42.7%(適期平均稼働率))

以上により、平成29年度の3,700件から5年間で300件の増加を目指す。



7. 別府港機械管理駐車場・県営3号上屋・石垣地区緑地

1. 次期指定管理期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日(5年間)

2. 現在の指定管理者(公募)

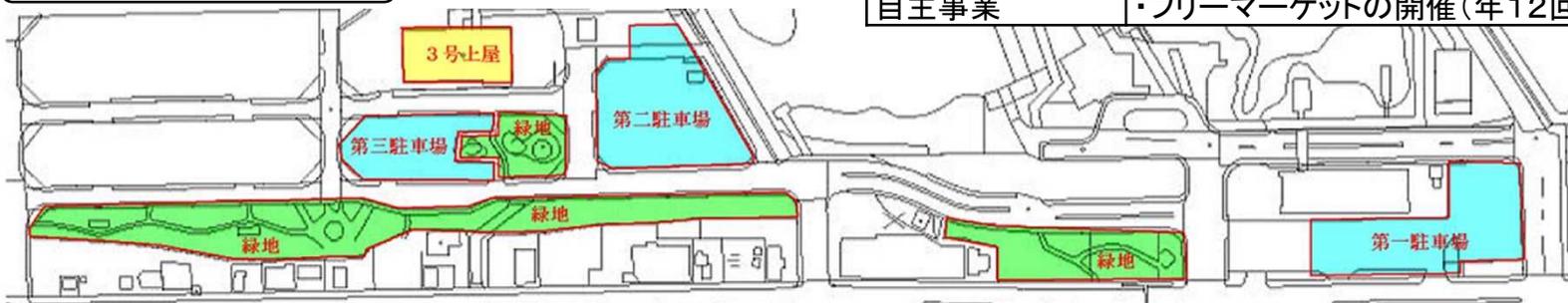
(株)おおいた観光サービス

指定管理期間 平成18年4月～(3期目)

3. 管理施設

- ・機械管理駐車場 第一駐車場 普通188台
第二駐車場 大型16台 普通198台
第三駐車場 普通82台
- ・県営3号上屋 RC造2階建
- ・石垣地区緑地 芝生、樹木、遊歩道、トイレ、水飲み場、ベンチ

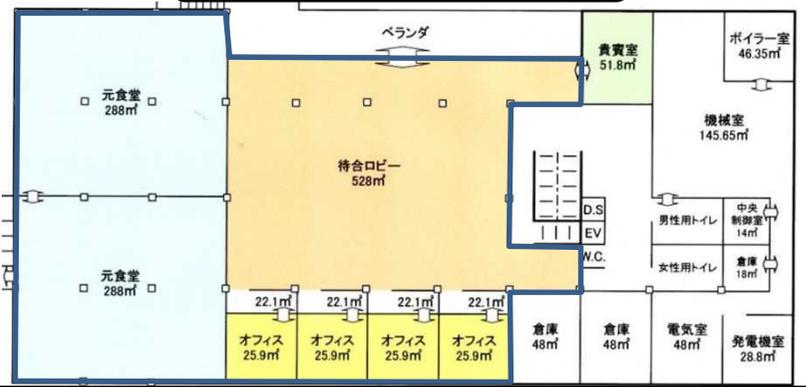
配置図:管理施設



平面図:3号上屋(1階)



平面図:3号上屋(2階)



4. 収支

(単位:千円)

年度	収入	支出	収支	使用料 (上屋:県収入)
H27	36,896	32,178	4,718	974
H28	37,841	32,971	4,870	1,200
H29	39,724	29,350	10,374	1,673
	・利用料金 38,510 ・雑収入 1,214	・管理費 15,988 ・人件費 13,362		

5. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の維持管理及び修繕 ・使用の許可 ・利用の促進 ・イベント誘致
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケットの開催(年12回)

6. 目標指標

(1) 現在の目標指標

○県営3号上屋でのイベント開催回数

項目	H26	H27	H28	H29	H30
実績	93	104	71	110	—
目標値	50	50	50	50	50

○現状・課題

現在の目標値は大幅に達成しているものの、3号上屋自体は、テナントも撤退しイベントのない日は、閑散としている。

平成29年度のイベントの開催回数は110回だが、参加者が1日あたり100人以上のイベントは20日間。

主催者ごとのイベント開催状況【H29】

主催者	イベント内容	開催回数	開催日数 (①)	参加者数 (②)	1日あたりの 参加者数 (②÷①)
A	古道具・雑貨等販売(5) 手作り雑貨・陶芸等販売(2) リサイクルオークション	11	21	11,720	558
B	フリーマーケット(5) クリスマスイルミネーション点灯式	13	13	2,140	165
C	住宅設備商品の展示販売(5)	2	5	1,240	248
D	ダンスレッスン(会員制)	31	31	980	32
E	リサイクルオークション	22	22	960	44
F	古物市場	12	12	715	60
G	花の展示販売(3)	1	3	380	127
H	企業のミーティング	9	9	210	23
I	事業者向け展示会	1	2	150	75
J	レンタサイクル	7	214	103	0
K	交響楽団練習会	1	1	60	60
合計		110	333	18,658	56

※イベント内容欄の着色部分は、「一般参加が可能なイベント」

※イベント内容欄の()は、「参加者が1日あたり100人以上のイベント日数」

イベント参加者が1日あたり100人以上のイベント

○古道具・雑貨等販売(12/9 : 1, 300人)



○フリーマーケット(11/25 : 400人)



○フラワーアレンジメント(11/28 : 100人)



(2) 施設のあるべき姿 (目指す姿)

旅客船乗降客や県民等に憩い・交流の場として利用してもらうなど、別府港の賑わいの創出に繋げる施設として多くの方が参加したくなるようなイベントが開催される施設を目指す。

→別府港の賑わい創出に向けて、以下のことに取り組む

- ・企業訪問などを通じて、新規主催者のイベントを誘致
- ・イベントの開催情報について、積極的にSNSなどで広報を行い、参加者数を増やす

(3) 次期指定管理期間の目標指標

○3号上屋でのイベント回数 (一般参加が可能で30人以上の利用があるもの)

(単位:回数)

項目	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	63	72	63	73	75	80	85	90	95	100

【考え方】

35年度の目標値は、一般の集客が見込めるイベントを毎週2回(土日等)実施することとし、年間100回と設定する。この数値達成に向けて、31年度の目標値から段階的(5ずつ)に引き上げていく。

○イベント参加者が100人以上となる日数(一般参加が可能であるもの)

(単位:日数)

項目	H26 実績	H27 実績	H28 実績	H29 実績	H30	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	14	16	17	20	25	30	35	40	45	50

【考え方】

35年度の目標値は、週1日は参加者が100人以上を目指すこととし、年間50日と設定する。この数値達成に向けて、31年度の目標値から段階的(5ずつ)に引き上げていく。

8. 大在コンテナターミナル

1. 次期指定管理期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日(5年間)

2. 現在の指定管理者(公募)

(株)大分国際貿易センター

指定管理期間 平成18年4月～(3期目)

3. 管理施設

施設概要(施設規模: 22ha)

- ① ガントリークレーン 2基 (26,500円/1時間)
- ② くん蒸庫 (840円/m³)
- ③ トラックスケール (370円/1回)
- ④ リーファー(冷凍) コンセント 56口 (320円/1時間)
- ⑤ 受変電所 1棟 ⑥ マリンハウス
- ⑦ 照明設備 5塔 ⑧ 警備員詰所
- ⑨ 保安設備 1式

4. 収支

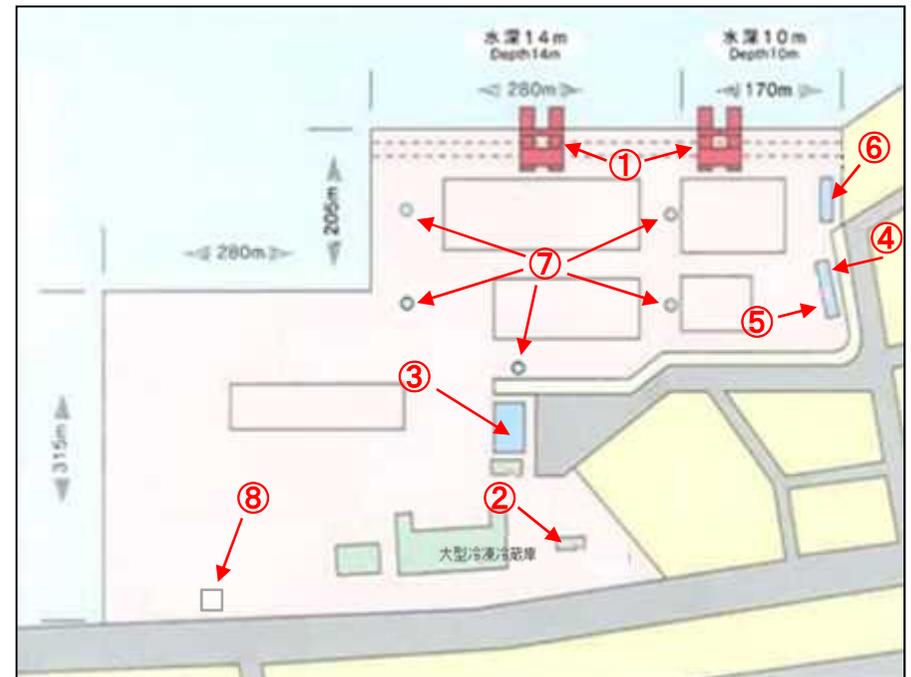
(単位: 千円)

年度	収入	支出	収支	使用料
H27	48,544	49,553	△ 1,009	56,807
H28	48,544	48,994	△ 450	58,556
H29	48,544	45,597	2,947	57,171
	・委託料 48,544 (提案事業費を含む)	・管理費 25,637 ・人件費 19,960		

5. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の維持管理及び修繕 ・使用の許可 ・利用の促進
サービス提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大在コンテナターミナル夏休み親子教室
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学者や視察の対応 ・ポートセミナーによるPR活動

(管理施設の配置)



6. 目標指標

(1) 現在の目標指標

○コンテナ取扱量(TEU)

項目	H26	H27	H28	H29	H30
実績	33,130	30,938	36,244	36,863	—
目標値	36,400	37,700	38,000	38,000	38,000

※TEU: 20フィートコンテナ1本に換算した単位。40フィートコンテナは2TEUとなる。

○目標指標の見直し

現在の目標指標であるコンテナ取扱量は指定管理者のコントロール外であるため、指定管理者の取組状況が反映されるように目標の見直しを行った。

(2) 施設のあるべき姿(目指す姿)

- ・ 東南アジア、中国、韓国を中心としたアジアとの貿易貨物の東九州における物流拠点として、年間365日24時間の運営を行う。
- ・ 輸送コストを下げるなど、大在コンテナターミナル利用者の利便性を向上させるため、取扱い貨物の増加を目指す。

※「取扱い貨物の目標」

ポートセールスにより、5年間5000TEU(新規航路誘致の目安)の新規コンテナ貨物を獲得(年間1000TEU)

(3) 次期指定管理期間の目標指標

① 施設の安全管理 (%)

項目	H30	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	100	100	100	100	100	100

- ① 年間365日24時間の運営に求められる、施設が安全に管理された日の割合
→ 施設の安全管理100%

②(ア) 新規獲得コンテナ貨物量 (TEU)

項目	H30	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	300	500	500	500	500	500

- ② ポートセールスを行って獲得した新規コンテナ貨物量
→ 年間目標は500TEUの新規コンテナ貨物を獲得
※施設全体目標1000TEUの半分

又は、(イ) 企業訪問数 (社)

項目	H30	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	30	50	50	50	50	50

- ただし、景気状況等により、ポートセールスが成果に結びつかない場合は、企業訪問数を指標として用いる。
→ 年間目標は県内企業50社訪問する。
※官民一体でポートセールスを推進する「大分県ポートセールス実行委員会」における年間企業訪問目標100社の半分

6. 目標指標

(1) 現在の目標指標

○利用者数(人)

項目	目標値	実績	実績細目				目標達成／未達成の要因
			大銀ドーム	駐車場等	その他施設	高尾山	
H26	1,220,000	1,251,769	450,153	257,720	421,409	122,487	・サッカーキリンチャレンジカップ開催、サーカス誘致による集客増
H27	1,220,000	1,153,427	431,036	162,295	441,934	118,162	・大規模イベント誘致なし
H28	1,220,000	1,144,627	347,923	267,728	412,371	116,605	・トリーナ2→J3降格による試合数減(22→15試合) ・熊本地震の影響によるイベント中止多発 ・サーカス誘致による集客増(※結果、減幅抑制)
H29	1,220,000	1,088,487	389,346	145,950	429,327	123,864	・ドーム内工事(11～2月)、屋スポ建設工事(4月～)によるイベント数減

○課題

- ・大規模イベント(4万人規模)誘致(年1回程度) …… ドームは、Jリーグ等で数多く利用されており、更なる利用者増を図るためには、
- ・周辺施設等を利用した中規模イベントの多数開催 …… 1度で多くの利用者呼び込めるイベントの開催が必要

(2) 施設のあるべき姿(目指す姿)

- ・スポーツ文化振興の中核、県民の憩いの場として、広い施設を活用し、より多くのイベントを誘致
→ 大型商業施設と連携したイベント開催、2020東京オリンピック・パラリンピックに関するイベント誘致等の検討

(3) 次期指定管理期間の目標指標

○利用者数(人)

項目	目標値
H31	1,308,000
H32	1,200,000
H33	1,200,000
H34	1,200,000
H35	1,200,000

【考え方・根拠】

- ①過去実績による各施設毎の利用者数(118万人)
内訳:ドーム41万人、駐車場等22万人、公園内その他施設43万人、高尾山12万人
- ②大規模イベント誘致(+4万人)
- ③ドーム西側エリア(屋内スポーツ施設建設地)利用者数減(-2万人)
∴目標値(H32以降)=①+②+③=118万人+4万人-2万人=120万人…ベース

※H31はRWC開催を考慮して算出

- ④RWC集客数(20万人)
- ⑤RWC開催に伴う他の施設利用制限(10月利用者数過去4年間平均9.2万人)
∴H31目標値=目標値(H32以降)+④-⑤=120万人+20万人-9.2万人=130.8万人

11. 屋内スポーツ施設（新規施設）

1. 指定管理期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日（5年間）

2. 指定管理者（公募）

次のとおり、スポーツ公園と一体として指定管理者を公募する。

- ・施設間でのイベント調整や公園内の車両同線等の一元管理
- ・利用者からの問い合わせのワンストップ対応等、サービス水準の維持・向上
- ・警備等施設管理業務の集約化など効率的な管理運営

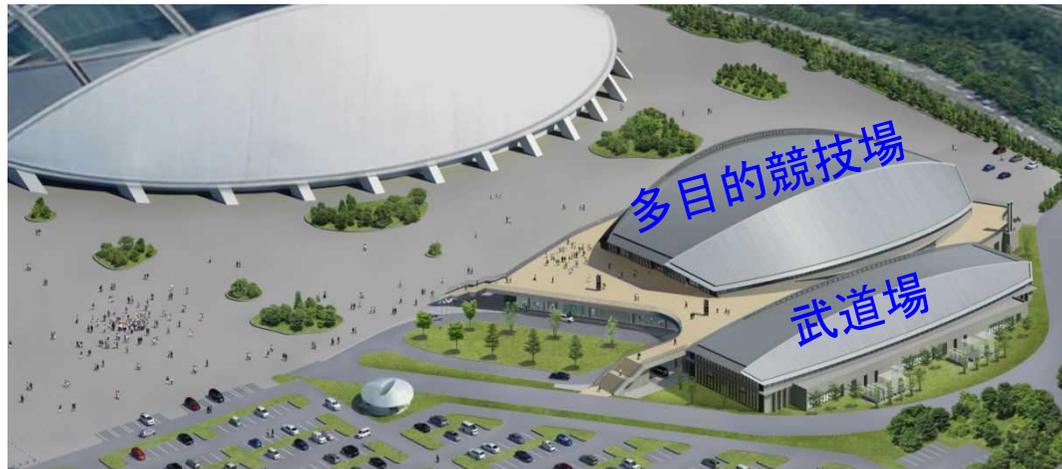
3. 管理施設

- ・大分県立屋内スポーツ施設
（多目的競技場、武道場、トレーニング室、会議室等）

4. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の維持管理及び修繕 ・利用の受付及び案内 ・利用許可 ・利用の促進
--------	--

（管理施設の配置）



〔施設概要〕

◆多目的競技場

- ・フロア面積:約3,570㎡(横81m×縦40m+オープンスペース)
- ・収容人数:約5,000人程度
(固定席:2,000、移動席:2,000、パイプ椅子:1,000)
- ・競技面数
柔道・剣道等(8面)、ハンドボール(2面)、バスケットボール(4面)
バレーボール(5面)、バドミントン(16面)など
- ・1時間の使用料
3,650円(スポーツに使用する場合)

◆武道場

- ・フロア面積:約2,410㎡(横33.5m×縦24m×3道場)
- ・収容人数:約400人程度(固定席)
- ・競技面数:3道場6面
- ・1時間の使用料[1道場]
890円(スポーツに使用する場合)

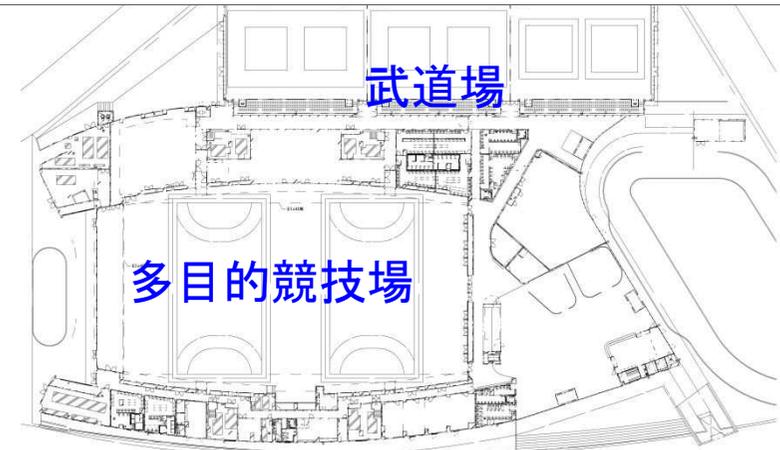
〔参考〕

◆大分県立総合体育館

- ・大体育室:1,680㎡(固定席1,334、移動席754)
- ・小体育室:774㎡

◆別府市立総合体育館(べっぷアリーナ)

- ・メインアリーナ:2,888㎡(固定席1,950人、移動席1,788)
- ・サブアリーナ:1,330㎡(固定席744)



5. 目標指標

(1) 施設のあるべき姿（目指す姿）

- ・大規模大会も開催可能な武道をはじめとする屋内スポーツの拠点
- ・県民の誰もが気軽に利用できる施設
- ・トップリーグ公式戦や各国代表の合宿開催によるスポーツ観光の拠点
- ・大規模災害に備えた広域防災拠点の中核施設

(2) 次期指定管理期間の目標指標

○利用者数

項目	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	164,000	257,000	271,000	283,000	293,000

【考え方・根拠】 ヒアリングや過去実績に基づき当施設の現時点における最大利用者数を算出し、その達成年度を平成35年度と設定。初年度における目標値を県大会9割、九州大会等の大規模大会や日常利用を8割とし、毎年一定率で目標に迫る計画とした。

〔H35目標値の内訳〕

- ◆大会利用者数 [約165,000人]
 - ☆多目的競技場〔89大会〕
 - ・九州大会以上 18大会
 - ・県大会 71大会
 - ☆武道場〔83大会〕
 - ・県大会
 - ◆平日利用者数 [約52,000人]
 - ☆多目的競技場
 - 競技団体、地元クラブ利用
 - ☆武道場
 - 武道団体利用
 - ☆会議室
 - ◆トレーニングルーム利用者数〔約76,000人〕
- 計 293,000人

6. 次期指定管理期間の目標指標（2施設合計）

○利用者数

項目	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	1,472,000	1,457,000	1,471,000	1,483,000	1,493,000
うちスポーツ公園	1,308,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
うち屋内スポーツ施設	164,000	257,000	271,000	283,000	293,000

12. 大分県立庄内屋内競技場

1. 次期指定管理期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日(5年間)

2. 現在の指定管理者(任意)

由布市(平成18年～ 現在3期)

3. 管理施設

- ＜A棟:庄内屋内競技場＞
- ライフル26射座(50m)
- (射場)テニスコート、ゲートボール
- 会議室
- ＜B棟:エアライフル射撃棟＞
- エアライフル26射座(10m)



＜A:庄内屋内競技場＞

4. 業務

指定管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の受付及び案内・利用の許可 ・施設等の維持管理及び修繕 ・利用の促進
--------	---

(利用料金表)

区分		単位	金額	備考	
射場	専用利用	エアライフル	1時間	3,770円	冷暖房使用は700円
		スモールポアライフル	1時間	4,710円	
	個人利用	エアライフル	1人1時間	200円	(専用使用は4,000円)
		スモールポアライフル	1人1時間	260円	
		ゲートボール	1面1時間	520円	加算する。
		テニス	1面1時間	520円	
	卓球	1台1時間	100円		
会議室	第一会議室	1時間	100円	冷暖房使用は200円	
	第二会議室	1時間	310円		
	第三会議室	1時間	830円	加算する。	



＜由布市庄内総合運動公園＞

- ① 駐車場
- ② 硬式野球場
- ③ 中央広場(神楽殿)
- ④ テニスコート
- ⑤ 多目的広場

- A 庄内屋内競技場
- B エアライフル射撃棟

＜B:エアライフル射撃棟＞



5. 収支

(単位:千円)

項目	H27	H28	H29
収入(利用料金)	2,109	1,950	2,062
支出(管理費)	2,515	2,475	2,778
収 支	△406	△525	△716

(平成28年度利用者内訳)

競技		H28	減免率
ライフル	ライフル協会	1,653人	定額
	由布高校	3,850人	10/10
フィールドターゲット		34人	—
テニス		313人	—
ソフトテニス		1,487人	1/2
その他		0人	—
計		7,337人	—

※ライフル及びソフトテニスの利用料を減免

6. 目標指標

(1) 現在の目標指標 (利用者数)

(単位:人)

項目	H26	H27	H28	H29	H30
実績	5,400	7,772	7,337	7,383	—
目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500

(2) 施設のあるべき姿 (目指す姿)

- 県内唯一のライフル射撃競技施設であり、ライフル射撃は国体において大分県の順位を押し上げる有力種目。その原動力は、由布高校ライフル射撃部員の活躍によるもの。
※29年度愛媛国体 ビームライフル少年女子で部員が優勝。
※27年度和歌山国体 ビームピストル少年男子・女子ともにOBが準優勝。
- 由布高校で活躍した部員が中央大や同志社大の強豪校、大分大学に進学しているのを見て、地域の中学生が由布高校を選択。その結果、ライフル射撃部員は大幅に増加 (部員数 26年度:24人、30年度:51人)
- 由布高校ライフル射撃部員の競技場使用は10/10減免としているが、これは、由布市が地域の活性化のために必要と判断したもの。

(3) 次期指定管理期間の目標指標

(単位:人)

項目	H31	H32	H33	H34	H35
目標値	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800

- ・過去3カ年の平均利用者数(7,500人)
- ・野球部の雨天時の練習などへの活用促進